



ほろのべ

北緯45度のまち

議会だより

第59号

発行 幌延町議会

編集 議会報発行特別委員会

電話 01632-5-1111

FAX 01632-5-2971

おもな内容

定例会の議案審議	2
地域の課題をとらえて一般質問	3
各常任委員会報告	4
臨時会の議案審議	4
サークル紹介	5
議会の動き	5
編集にあたって	5

第9回 定例会 幌延町議会

12月20日
～21日

第9回幌延町議定会定

例会が議員全員出席のもと12月20日開会され、行政報告のあと2氏が一般質問を行った。

議事案件は、決議案件1件、議案18件、陳情1件、意見案2件が可決された。

議案審議

◎幌延町民憲章の制定について

町内各所に設置する憲章板の字体は教科書体で制定する事とした。

◎定住自立圏の形成に関する協定の締結について

管内の市町村が互いに地域の特質を生かし役割を分担し活性化を図るため稚内市を中心に連携の締結をするもので去る1月20日稚内市で調印式を行った。

◎議案第12～18号補正予算

(一般会計総括)

問 人件費について、行財政改革の一旦として特別職の給与の改定、手当の特別加算の廃止等、今後検討する考えはないか。

答 町財政の状況を見ながら考えていきたい。

問 国の補正予算が報道され地域における「きめ細かな交付金」また「住民生活に光をそそぐ交付金」合わせて6千6百30万円が交付さ

れる予定であるが町としてどのような使途を考えているか。

答 消費者行政や弱者対策、自立支援等があるが、今後、各課に要望を出させる予定だ。

問 緊急雇用創出事業交付金約4百60万円の具体的な使途はどう考えているか。

答 交付税の中に積算されており町の補正財源として使われている。

◎陳情第1号

議会議員の定数削減を求める陳情について

昨年11月の第8回臨時議会に上程され、総務文教常任委員会に付託されていた本件は特例の全員協議で審議され一定の結論を得たとして不採択とする委員長報告がなされた。

採決の結果委員長報告に反対者1名、賛成者8名となり、幌延市街地区連合町内会より提出された陳情書は不採択となった。

反対者の発言理由としては昨年9月定例議会においては現行定数10名から9名と

した決定は大変重いものと理解しその責任も強く感じているが、我々議員は住民の代表であり住民の付託を受けてその職責を果たしている。今回の市街地区町内会会長名で提出された陳情書は住民の代表機関である議会として真摯に受け止めるべきと反対意見を述べた。賛成者の発言理由として過去2年半に渡り協議し、全員一致ではないが議会としての結論が出されており更にこの場で審議すべきではないと判断すると述べた。

◎意見案1～2号

第1号、環太平洋戦略経済連携協定(TPP)への参加に反対する意見書を、政府の関係大臣に提出した。

第2号、北海道開発局の存続要望に関する意見書の提出については低迷している北海道経済、遅れている社会基盤整備等から存続していくことが必要不可欠であり関係大臣に意見書を提出した。

地域の課題をとらえて

2氏が一般質問



驚見 悟

Q、国保税の引き上げには反対です。

A、今年度は73万円に引き上げたい

質問 幌延町の国保会計はかなり良い。国保基金も6千7百万円程ある。上げる理由がない。

町長 国において一律に上限が決められている。73万円に設定したいと考えている。

質問 国の補助率が45%から38.5%へ下がった。介護保険と後期高齢者制度へ移行。実質的には年々負担は増えている。

町長 最高限度額を上げることが、結果的に中間所得層や低所得層に軽減となる。

質問 国保会計は町村単位で幌延町は収納率も良くよくやっている。国民皆保健としてスタートした国保は最高限度額の問題だけでなくいろいろな分離され（介護後期高齢者）381世帯でやっている。一時的に下がったとしても（平均値）トータルでは上がっている。

町長 幌延町の国保会計はいい状況で推移している。所得割、資産割、平等割も他町村から見ると、半分以下、或いは3分の1程度と

いうこと。負担も軽くなっている。

質問 国保税が町村におけるバラツキがあることは事実。思い切って資産割をなくすことを考えてはどうか。

町長 税率については23年度に考えてはいない。

質問 国保加入者も変化して来ている。2割5割7割の軽減措置があったとしても2百万円の所得では大きな負担になると思うが。

会計課長 国保は何か病気になった時に加入者全体で平均して負担しているというのが目的です。農家ですと、資産割の率を下げたので最高限度額は6件程となっている。税納期が6期にしている。固定資産をなくすと増減幅が大きくなる可能性もある。

質問 町議会で触れることが出来るのが国保税だけなものですから、あえて触れさせてもらった。ナシヨナルミニマム（地域合意）を訴えたい。



齊賀 弘孝

A、Q、TPP参加どう思う
重大な問題と考える

質問 TPP交渉参加問題をどのよう受け止めているか。

町長 農業への影響が極めて大きいと認識している。

質問 もう少し突っ込んだ回答がほしい。基幹産業の酪農の役割は何か。

町長 大変な重大な問題と受け止める。JAと町が一体となってこの問題に取り組んで参る。そして、要請行動にも積極的に参加する。

質問 幌延町地域の損失額は、町長 本町独自に試算してないので把握してない。

質問 町民の方にも知っていただくと思ったのに、損失額も分からない。なぜ出せないのか。

町長 分かり次第に議会に報告する。

農業委員会会長 JA幌延町の試算では23億。一次産業の町全体として想定して概ね百億を超すんじゃないか。実現されたら、一戸も営農存続できない。

町長 問寒別でTMRセンターができ、酪農家9軒は規模も大きく、乳量も相当増えた。TMRセンターで言えば、将来に向けての酪農家の道標、明るい兆しができると思う。

質問 コントラ、農業生産法人などの研修会を町長が中心となり近隣町村に働き掛けできないのか。時期を見計らってでなく、次年度の予算に向けてやっていけないか。

町長 担い手センター実習生受け入れも町と農協がタイアップして事業推進して。農協から計画をもつて、事業を興したいんだという事があれば、町として自身を検討し、協力させて頂くという事は再三再四言っている。

質問 TPP問題をきっかけに、三期目の宮本町長のリーダーシップは大きい。第一次産業関係者の不安を和らげてほしい。

町長 私も更に農協さんと連携を図って基幹産業酪農を守る。

常任委員会 報告

■第8・9回総務文教 常任委員会

(平成22年12月7日)

◎幌延町議員の定数削減を 求める陳情について

先の第8回幌延町議会臨時会で本委員会に付託された議員定数を8名とすべきとの市街地区町内連合会より提出された陳情書に対する集中審議が特例の委員外議員も参加して行われ、冒頭、陳情の主旨と近隣の議員定数の動向を報告された。本件については12月定例会までに委員会としての結論を出し、委員長報告として本議会に上程することで同意し、陳情書に対する各自委員の意見を述べた。

複数の委員から本件の議会としての審議・決定までの経緯や任期を考慮し、本陳情に対しては不採択とすべきとの意見が多数出されたが、全員一致とは至らず多数意見として委員長報告

する事とした。

◎幌延町生涯学習センター 条例(案)等について

◎幌延町及び問寒別生涯学 習センターに関する使用規 定及び使用料について

問 生涯学習センター内に設置される図書室の運営に専従の職員を配置するのか。

答 生涯学習センターの職員配置は2名体制で図書室管理を兼務しパソコンシステムを導入し利用者に不便を掛けないよう対応して行きたい。

問 学童保育の施設利用時間はこの条例とは別か。

答 利用時間は基本的には午前9時から午後9時までですが学童保育利用は別扱いとなります。

◎幌延町災害時要援護者支 援制度について

多様な災害に高齢者や障害者等が地域のなかで迅速に支援が受けられるための制度です。

問 この制度では要介護者が登録申請するとなっていて対象者全員の同意を得られるか。

答 災害時の要援護者を把

握するための重要な台帳作成作業なので対象者全員の協力とご理解をお願いしたい。又、この台帳は年2回ほど見直しをしながら整理し内容を充実して行きたい。

◎特定事業用設備新設等 地域活性化に関する条例の設 定について

幌延町税条例の特例を定めるもので産業開発の促進を図るための製造業、情報通信技術利用事業、旅館業などが新たに課税することとなった年度から3ヶ年度分の固定資産税に限り免除する条例。

■第1回総務文教常任 委員会

(1月24日)

◎善行表彰について

中川町の藁谷和美氏より寄付が有り町条例第7条に基づき、善行表彰を行う。

◎幌延町まちづくり事業補 助制度の見直し(案)につい て

産業及び経済の活性化又は地域福祉の向上に貢献しうる新規性又は先駆性を有

する事業の調査研究事業は、補助対象経費の2/3以内(1百50万円限度)を一括交付、施設設備事業は、融資の各年度の償還元金の2/3以内(2百万円限度の5年間総額1千万円限度)を分割交付する。

申請期間は4月1日から11月30日までとする。

問 補助金を受け、事業の途中、閉鎖したときの規制はあるのか。

答 補助金の返還と交付決定の取り消しを行う。

施設設備事業は耐用年数以内とする。

◎議会の可視化について

議会議中継システムについて研究してきたが、機器メーカーから不都合が発生する旨の報告があり今後においても検討する事とした。

◎幌延町民憲章朗誦につ いて

町民憲章の制定に伴い、議会においても年1回、6月の定例会で朗誦することとした。

■第8回産業厚生常任 委員会 (12月7日)

◎幌延町健康増進計画(案) について

・この件は議員が西会津町視察したことからの取り組みである事

・日頃からいろいろ審議しているものをまとめて案とした。

・今後着実な執行を目指す

問 この計画をいかに実行に移し、町民に浸透させていくのが、一番の課題ではないか。

答 実行委員会を立ち上げ実現可能な事をやる。重点5項目のめざすところの13項目を一つ一つ達成していく取り組みを考える。

問 事業の原動力は推進委員と考えるが、参加率の課題もあり、その取り組みはどう考えるのか。

答 委員になってもうこと自体がストレスに感じられるかもしれないが本心に安心できる地域にするための形態を今後模索し住民が参加しやすい活動にしていく。

問 住民へどのように計画案を配布するのか。

【答】ダイジェスト版の全戸配布。23年度実行委員会の立ち上げ。

【問】理解できる啓蒙活動と気軽に参加できる取り組みをして欲しい。

【答】今回の計画は壮青年期の方のため、気軽に出かける場が必要なのは重々感じている。

◎幌延簡易水道井戸新設工事の変更について

・工期が平成23年3月25日まで延長。

・工事金額、約1千3百万円の増額

・10月末の進捗状況は70%

◎北星園の民営化について

【問】こざくら荘の臨時職員と正職員との給与差額分助成は単年度だけか。

【答】単年度だけでは多分ならない。幌延福祉会と協定の中で詰める。

【問】この起債の償還が終るのはいつか。

【答】約10年くらいとなる。今は公設民営という形だが、起債を償還すれば民設民営にできる。

■第1回臨時会

(1月24日)

◎議案第1号

工事請負契約の締結について

既に施工中の幌延市街簡易水道の井戸掘削位置の変更に伴い、用水ポンプ及び電気設備の設計変更により1千2百92万5千円の増額となった。

◎議案第2号

一般会計補正予算

国の円高、デフレ対応のための経済対策に係る補正予算の内、地域活性化交付金(きめ細かな交付金、住民生活に光をそそぐ交付金)による、街路灯、道路整備、公共住宅の改修、図書室の整備に当てるのが主として補正計上された。

【問】街路灯整備の新設はどこか。

【答】町政懇談会で新たに要望があった所に対応したい。

【問】学校現場でのパソコン整備事業でソフトの更新は計画的に実施しているのか。また無料ソフトの利用は考えていないか。

【答】小学校、中学校共に主

要教科を中心に市販のソフトを活用して授業に活かしていきたい。また電子黒板等の教育機器を使って計画的に実施していきたい。

サークル紹介

今月号は問寒別手芸サークルです。

『手芸サークル』



会長
森崎登代子

「インタビュー」
Q. 手芸サークルの活動内容と楽しさを教えてください。

A. 会員の半数以上が酪農家さんなので冬場に集中して活動しています。自由に創作活動をしています。全員で一つの物を作ることもあります。「明るく楽しく仲良く」をモットーに、皆さんが集まりおしゃべりしながら手芸が出来て楽しいです。作品は文化祭に展示したり、

議会の動き

- 10月4日 ▶ 第74回議会報発行特別委員会
- 10月12日 ▶ 第75回議会報発行特別委員会
- 10月20日 ▶ 第76回議会報発行特別委員会
- 10月27日 ▶ 第7回全員協議会
商工会役員との懇談会
- 10月29日 ▶ 町民と議会議員の懇談会
- 11月15日～18日 ▶ 第54回町村議会議長全国大会(東京都)
- 11月17日 ▶ 北留萌消防組合臨時会(羽幌町)
- 11月19日 ▶ 第5回議会運営委員会
- 11月24日 ▶ 産業厚生常任委員会(道路状況調査)
- 11月29日 ▶ 第8回臨時会
第8回総務文教常任委員会
第77回議会報発行特別委員会
- 12月7日 ▶ 第6回議会運営委員会
第8回産業厚生常任委員会
第9回総務文教常任委員会
第78回議会報発行特別委員会
- 12月10日 ▶ 第79回議会報発行特別委員会
- 12月20日 ▶ 第80回議会報発行特別委員会
- 1月19日～20日 ▶ 宗谷町村議会議長会総会
- 1月24日 ▶ 第1回臨時会
第1回総務文教常任委員会
第81回議会報発行特別委員会

手芸体験コーナーを設けて皆さんに楽しんでもらえるようにしています。

「会長さんの一言」

手芸サークルは問寒別の中で一番古いサークルになりました。諸先輩方が続けて来た事を守りながら、今後も楽しく活動していきたいです。3月末まで夢地創館で作品を展示していますので、是非ご覧ください。



「夢地創館での展示風景」

編集にあたって

冬のイベントも終わりに近づくとこの頃ですが、幌延にもネコヤナギの芽がふくらみ春間近という季節です。

今年は4月に統一選挙が行われますが、最近では地方自治体における議会のあり方が話題になっています。

町民の幸せと町の発展を願う思いを皆様と大いに話し合い、改革を進めるものと守るべきものを考えて行きたいと思っています。

編集委員長
副編集委員長
編集委員

植村 敦
無量谷 隆
菅原利彦
西澤裕之